

森林吸収源計測・活用体制整備強化事業

平成15年度～22年度（独立行政法人 森林総合研究所再委託）

野々田稔郎・島田博匡

近年、温室効果ガスの吸排出量への関心が高まるとともに、京都議定書等との関係から、森林の炭素吸収量を明確にする必要が生じてきている。森林における地上部バイオマス、地下部バイオマス、土壤に含まれる炭素貯留量、枯死木とリターに含まれる炭素貯留量を報告する必要がある。このため、京都議定書の求めるレベルでの算定を行うための基礎資料を得ることを目的に、(独)森林総合研究所からの再委託を受け調査を実施した。なお、本事業は全国規模で行われている調査事業である。

1. 調査項目

県内7カ所について、調査グレードを1（調査項目の全て）、2（調査項目①～④）に分け、以下の項目について調査を実施した。

①調査地概況調査

調査地点（森林資源モニタリング事業の調査点）における斜面傾斜方向、代表植生等の概況調査

②枯死木調査

プロット内（半径15mの円形プロット）の南北方向、東西方向の直径線上に交差する枯死木の直径を測定

③堆積有機物量調査

プロット内4カ所（0.25m²）における林床堆積有機物の厚さ、量を計測

④土壌サンプルの採取（炭素蓄積量測定用）

堆積有機物量調査と同一地点において、地表から40cm深までの土壌断面調査及びサンプル採取

⑤代表土壌断面調査

プロット内1カ所において、地表から深さ1mまでの土壌断面調査及びサンプル調査。本項目はグレード1調査地のみで実施。

2. 調査の状況

以下の箇所について調査を実施し、報告を再委託元へ報告を行った。

調査点ID	調査地の所在地	調査グレード	調査項目
240005	熊野市紀和町地内	2	調査項目①～④
240010	南牟婁郡御浜町地内	1	調査項目①～⑤
240015	南牟婁郡紀宝町地内	2	調査項目①～④
240030	熊野市飛鳥町地内	1	調査項目①～⑤
240040	熊野市波多須町地内	2	調査項目①～④
240085	伊賀市南寺田地内	2	調査項目①～④
240045	尾鷲市南浦地内	2	調査項目①

*：調査点 ID240045 については岩盤が露出し、土壌断面調査等が不可能であったため、現地状況調査と写真撮影を行った。